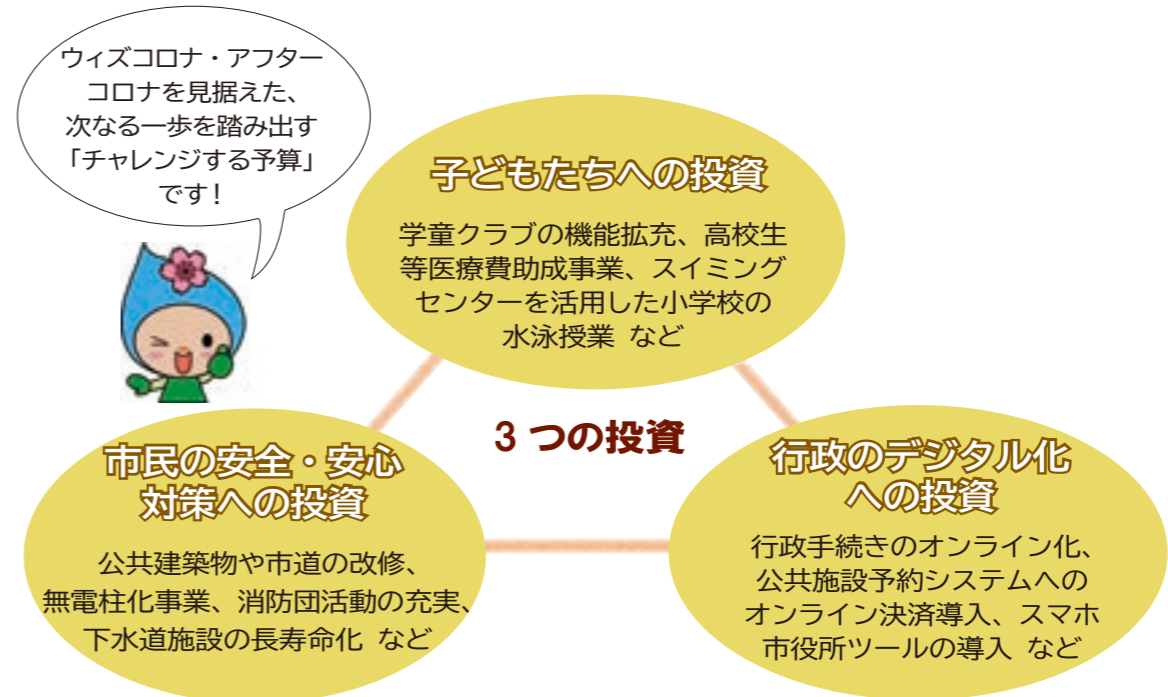


市の財政は、税収の低迷、社会保障費の増加、不透明な国内外の情勢などの影響を受け、厳しい状況が続いています。広報はむら3月15日号でも、その現状や今後の取組みをお知らせしたところです。

令和5年度予算は、財政の健全化へ向けた取組みを着実に進める中で、厳しい財政状況下においても「子どもたちへの投資」「市民の安全・安心対策への投資」「行政のデジタル化への投資」という次代につながる「3つの投資」に重点を置いて編成しました。

問合せ 財政課 ☎ 320



令和5年度各会計予算

(単位：万円・%)

区分	令和5年度(当初)	令和4年度(当初)	増減額	増減率	
一般会計	2,369,700	2,246,100	123,600	5.5	
特別会計	国民健康保険事業	592,630	589,390	3,240	0.5
	後期高齢者医療	149,780	140,700	9,080	6.5
	介護保険事業	414,370	401,710	12,660	3.2
	羽村駅西口土地区画整理事業	155,050	154,100	950	0.6
特別会計合計	1,311,830	1,285,900	25,930	2.0	
水道事業会計	171,676	173,690	▲ 2,014	▲ 1.2	
下水道事業会計	174,902	171,947	2,955	1.7	
合計	4,028,108	3,877,636	150,472	3.9	

※水道・下水道事業会計は、「収益的支出」と「資本的支出」を合計し、予算額としています。
※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

予算の詳しい内容は、市公式サイトから見るができます

令和5年度に市が重点的に取り組む事業や予算の概要、健全な財政運営に向けた取組みなどをまとめた「令和5年度実施計画・予算(概要説明)」を公開しています。詳しくは市公式サイトをご覧ください。

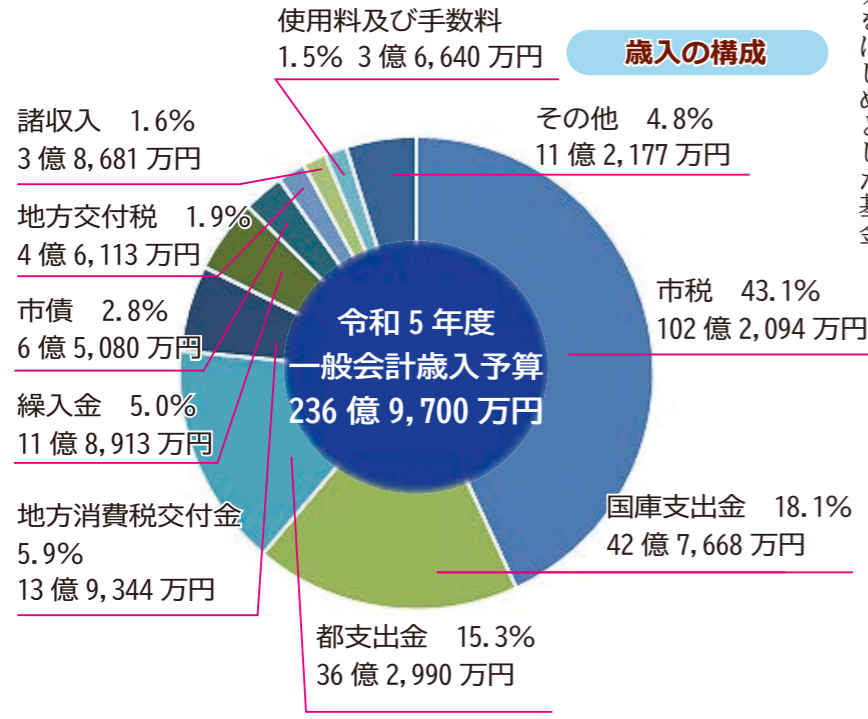


歳入

一般会計予算

当初予算としては過去最大

令和5年度一般会計の予算規模は、前年度と比較して5.5%増の236億9,700万円となりました。



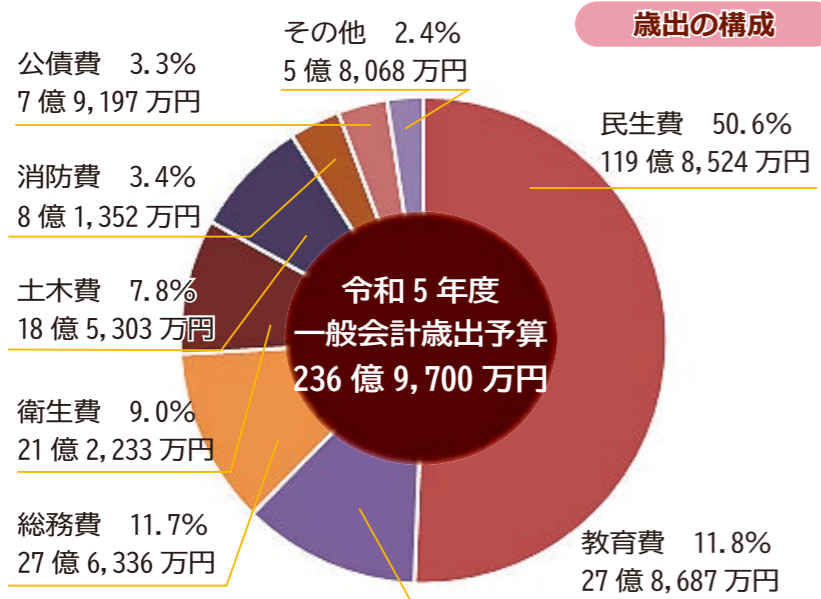
歳入の根幹となる市税収入は、前年度と比較し2.2%増の102億2094万円を見込み、3年ぶりに100億円台に回復する予算となりました。

一方で、市債(市の借金)の借入額は前年度を上回る見込みであり、財政調整基金※をはじめとした基金

(市の貯金)からの繰入金は4年ぶりに10億円を上回る予算額を計上しました。依然として市債や基金に頼った苦しい財政運営が続いています。

※財政調整基金：年度間の財源の調整を図るための貯金

歳出



障害福祉サービス費などの増に伴う扶助費の増加や国民健康保険事業会計への繰出金の増加など、令和5年度も社会保障経費が大きく膨らみました。

また、富士見小学校防音機能復旧工事費の計上などにより普通建設事業費(投資的経費)が大幅に伸び、

老朽化が進む公共施設・インフラ施設の維持保全にかかる経費も増大している状況にあります。

このような厳しい財政状況の中、事務事業の見直しにより経常経費を削減しつつ、次代につながる施策に重点を置き予算化した結果、過去最大の規模となりました。

民生費	高齢の方や障害のある方、保育など福祉の充実に
教育費	学校教育や文化・スポーツの振興に
総務費	コミュニティの振興や行政運営に
衛生費	市民の健康を守ることやごみ処理などに
土木費	道路や公園、市街地の整備に
消防費	火災や地震などへの災害の備えに
公債費	市が借り入れた市債などの返済に